

SDGsについて



SDGs未来都市 TOYAMA 富山市企画調整課

SDGsの背景 (地球の危機)

環境問題

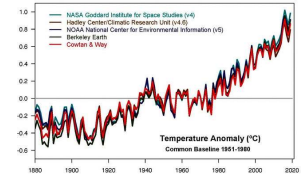
- 地球温暖化の進展、水問題の深刻化
- 自然災害の増加、エネルギー問題の深刻化
- 気候変動の激化 など

社会問題

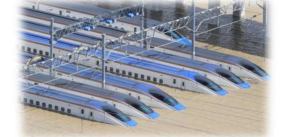
- 貧困問題、感染症の流行
- 紛争の長期化、複雑化、差別問題
- 教育機会の不平等 など

経済問題

- 経済危機の頻発
- 経済格差の拡大
- 若年失業率の増加 など



【世界の平均気温の上昇】



【気候変動 (大型台風)】



【国際紛争】

地球環境は危機的状況

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)

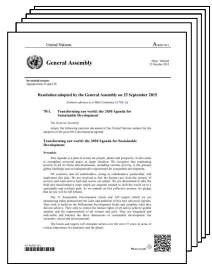
将来の世代がそのニーズを充足する能力を損わずに、現世代のニーズを充足する開発目標 (国連定義)



SDGsの特徴

- ① 2015年に史上初めて、世界の193カ国 **全ての国連加盟国** が同意
- ② 2016年から2030年までの **15年間** で達成を目指す。
2023年は折り返し年であり、残り8年をかけて達成を目指す。
- ③ 3年をかけて、様々な立場の人が協議を重ねて成立した「**みんなのための・みんなを支える**」目標 → **個人も参加**

持続可能な開発のための2030アジェンダ



Transforming our world:
the 2030 Agenda for
Sustainable Development

我々の世界を変革する：
持続可能な開発のための
2030アジェンダ
【英文 35ページ】



5

TOYAMA CITY

持続可能な開発のための2030アジェンダ

SDGsは、「**変革**」を求めている。

2015年9月25日第70回国連総会で採択 (国連文書A/70/L.1を基に外務省で作成)

仮訳

我々の世界を変革する：

持続可能な開発のための2030アジェンダ

前文

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求するものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000101402.pdf> (全36ページ)

15

TOYAMA CITY

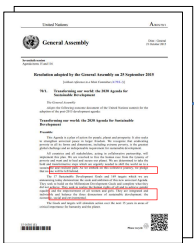
2030アジェンダ 前文と宣言のポイント

(前文)

As we embark on this collective journey. We pledge that no one will be left behind.
我々は、この共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

(宣言)

A world with equitable and universal access to quality education at all levels, to health care and social protection, where physical, mental and social **well-being** are assured.
すべての人が、身体的、精神的、社会的によく生きられる世界を目指す。

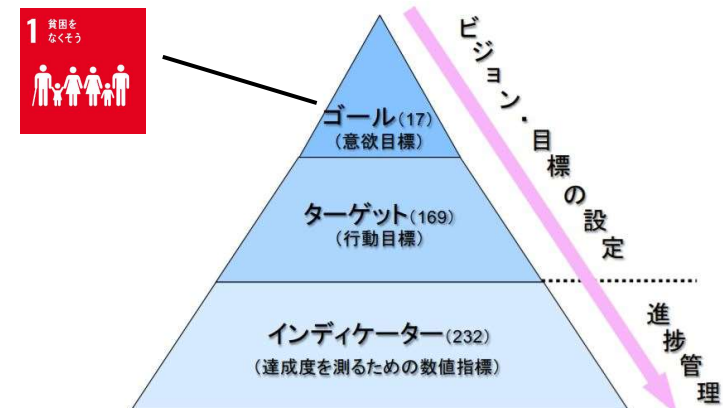


7

TOYAMA CITY

SDGsの構成 (3階層)

・SDGsは、世界が克服すべき課題の解決に向け、**17のゴール(意欲目標)**と、具体的な目標を掲げた**169のターゲット(行動目標と手段)**、その達成度を測るための**232の指標**の3層階層で構成されている。



5

TOYAMA CITY

目標(ゴール)とターゲットと指標の例

【目標(ゴール)3】

すべての人に健康と福祉を



【行動目標(ターゲット)】

3.3 2030年までに、その他の感染症に対処する。

3.4 2030年までに、非感染症疾患による若年死亡率を予防や治療を通じて、3分の1まで減少させる。

3.6 2020年までに世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

【数値指標(インディケーター)】

3.4.2 自殺率

3.6.1 道路交通事故による死亡率

17の目標と「5つの「P」」の関係性

①People(人間) ※ゴール1~6

・貧しさを解決し、健康で平等に教育を受ける



④Peace(平和) ※ゴール16

・争いのない平和な世界



②Prosperity(豊かさ) ※ゴール7~11

・経済的に豊かで、安心して暮らせる世界



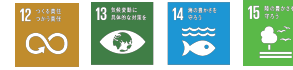
⑤Partnership(協働)

・誰もが協力しあう世界



③Planet(地球) ※ゴール12~15

・自然と共存して、地球の環境を守る



・「SDGs」の17の目標は、「人々」が「協力」しながら、「豊か」で「平和」に「地球」で暮らすという、誰もが望む当たり前のことを目指している。

リンケージ思考(課題の同時解決)

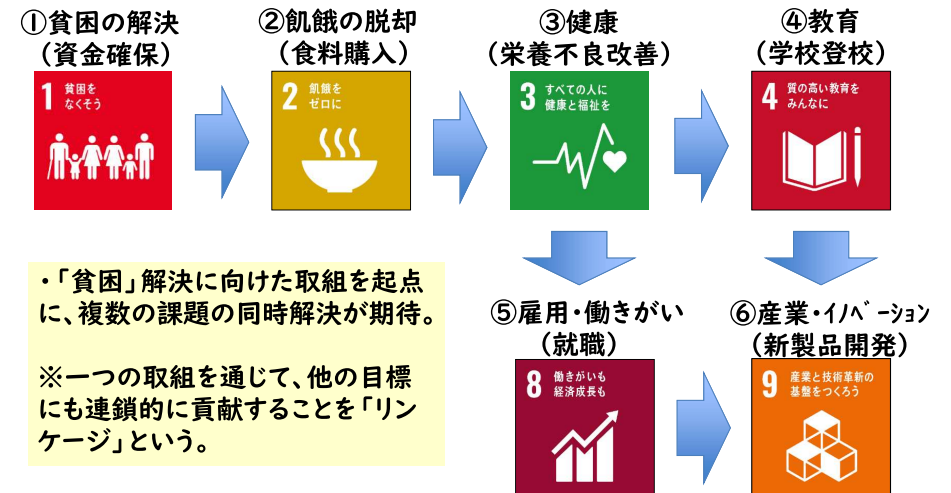
・SDGsの17のゴールは、それぞれが独立したゴールではなく、正負(プラス・マイナス)の両面で相互に関連。

・目標達成に向けて、取組を進める場合、関連する目標を意識し、複数課題の同時解決を目指すことが重要。

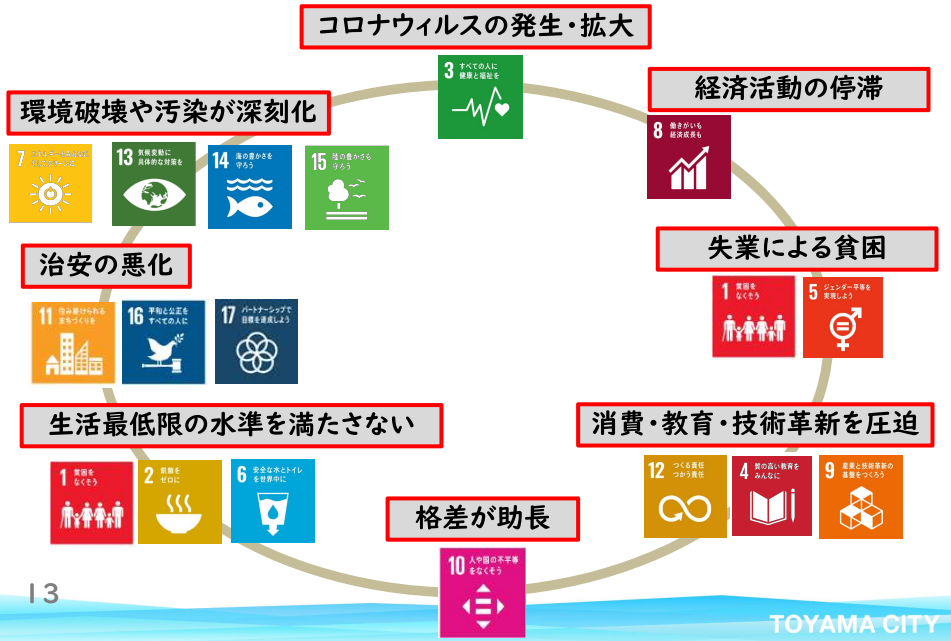


リンケージの具体例(課題の同時解決)

・SDGsのゴールが相互に関連している例(正の連鎖)



リンケージの例:新型コロナウイルスによる負の連鎖



日本のSDGs達成状況



日本の強み

達成済



課題あり

重要な課題あり



日本の課題

深刻な課題あり



出典:「Sustainable Development Report 2022」

富山市が目指す「SDGs未来都市」

本市は、2018年6月15日に経済・社会・環境の分野をめぐる広範な課題に統合的に取り組む地方自治体として、全国初の「SDGs未来都市」に国(内閣府)から選定される。

「コンパクトなまちづくり」や「環境モデル都市」、「環境未来都市」などの取り組みをSDGsの視点から発展させる。

SDGs未来都市とやまの取組み

選ばれるまち

シビックプライドの醸成

ライフスタイルの変化

公共交通の利便性の向上・利用促進

都市ブランド力の向上

技術・イノベーション

環境・エネルギー

健康・子育て



富山市のコンパクトなまちづくり



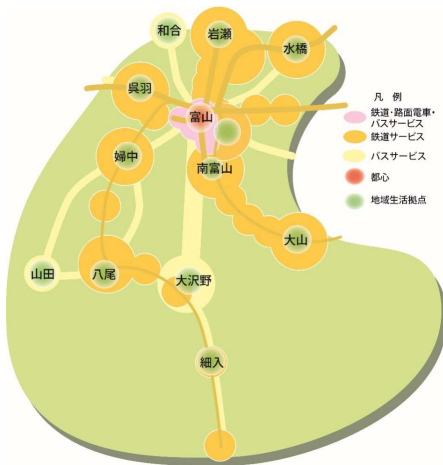
公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

<概念図>

お団子と串の都市構造

串 : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子: 串で結ばれた徒歩圏



<実現するための3本柱>

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化

歩くライフスタイルの推進



健康づくりとまちづくりが融合した『歩くライフスタイル』への転換を促し、まちの賑わいやひと・地域との繋がりを育む、持続可能なまちを目指す



歩く生活がもたらす様々な“富”で豊かな生活を送る新たなライフスタイルへ

市民にとっての富

まちにとっての富

健康

歩くことで、心も身体も元気になります。無理なく歩くだけで、1歩あたり、0.072円[※]の医療費削減効果があると言われています。

出会い

歩く機会が増えると、出会う人も増えます。たくさんの人とコミュニケーションをとることで、毎日が楽しく充実したものになります。

まち

歩く人が増えると、まちが賑わいます。賑わっているまちに家族や友達と出掛けると、ただ歩くだけでも楽しい気分になります。

公共交通

公共交通を使い、歩くことで、いつもとは違う景色を楽しむことができます。外出先でお酒を楽しむこともできます。

※まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行数(歩数)調査のガイドライン(国土交通省)

グリーンスローモビリティ運行事業



■グリーンスローモビリティとは
 ・時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

- 導入の目的
- ・SDGs未来都市としてのイメージ向上
 - ・交通空白地域等(観光利用や生活利用)における新たな移動手段としてPR、可能性調査
 - ・富山駅北地区の賑わい創出、魅力の向上など



導入の可能性を検証するため、運行社会実験を実施



①令和2年10月～
富山駅北地区での運行社会実験開始



②令和3年8月～
富山運河環水公園内への延伸



③令和3年11月
岩瀬地区での運行社会実験

スマートフォンアプリ「とほ活」～R1.11.1リリース～

- ・歩く行動に対する**楽しみやインセンティブ**を提供するスマホアプリを開発
- ・市民の行動変化を起こす**きっかけづくり**を支援



歩数・公共交通・イベント参加によるポイント獲得

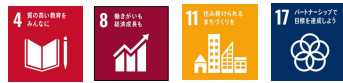
<p>①歩数でポイント</p> <p>スマートフォンアプリと連動し、毎日の歩数を計測。歩数に応じてポイントを取得できます。 ◆1,000歩 → 8pt (1日上限:80pt)</p>	<p>歩数計機能</p>
<p>②公共交通利用でポイント</p> <p>駅改札や市内電車、バス車両内に設置されたビーコンからの電波を検知して、ポイントを取得できます。 ◆1回/日 → 5pt (週1回利用ボーナス:50pt)</p>	<p>Beacon</p>
<p>③イベント参加でポイント</p> <p>まちなかでの催しやワーキングイベントなどの会場に設置されたQRコードを読み込んで、ポイント取得。 ◆イベント会場ごとに1回/日 → 最大100pt</p>	<p>参加確認 QRコード</p>

<参考>令和3年3月抽選

<p>A賞 (1名)</p> <p>リバーリゾート雅楽倶楽部宿泊券1泊2日 (エスデ付き)</p> <p>10万円相当</p>	<p>B賞 (3名様)</p> <p>パルミユル オープンボックラウンド</p> <p>9,000円相当</p>	<p>C賞 (3名様)</p> <p>ソラスタリウム Spirit スターターキット</p> <p>7,000円相当</p>
<p>D賞 (20名様)</p> <p>大和証券 (3千円分)</p> <p>6,000円相当</p>	<p>E賞 (12名様)</p> <p>富山グラウンドスヘアサロン</p> <p>3,000円相当</p>	<p>2名様</p>

貯めたポイントを使って**商品への抽選応募**が可能。賞品は市内リゾート施設の宿泊券や健康関連製品、地元百貨店の商品券、地場産品、スポーツ観戦券など。

SDGs教育旅行の展開①



▲プログラムを紹介するパンフレット ▲オリジナルのフレームワークシート

取組の概要

地域の課題解決の考え方を教育旅行の素材としてプログラム化（パンフレット）

富山市のまちづくりの取り組みをはじめ12のSDGsプログラムを開発（ガイドブック、ワークシート）

R3年度実施 16校 1,004名
R4年度実施 37校 2,694名



▲ガイドブック

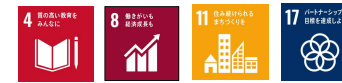


▲行政職員によるSDGsのレクチャー



▲コンパクトシティ政策レクチャー

SDGs教育旅行の展開②



3 アト

- 世界の課題や取り組み事例について調べてみよう。
 - 世界の総人口が約80億人、そのうち約60億人がSDGsの課題に直面している。
 - 国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年までに達成を目指す17の目標である。
- 身近な課題や取り組み事例について調べてみよう。
 - 富山市のまちづくりの取り組み事例について調べてみよう。
 - 富山市のまちづくりの取り組み事例について調べてみよう。
- SDGsゴールを自分の言葉で訳してみよう。
 - Sustainable Cities and Communities: Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable
- 富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを考えてみよう。
 - 富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを考えてみよう。

未来へつなぐコンパクトなまちづくり

Sustainable Development Goals

理想

課題

- 少子高齢化
- 公共交通の衰退
- かさばる行政コスト

【図】

- 公共交通の強化
- 公共交通の活性化
- 中心部の活性化

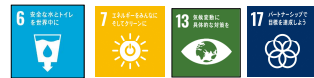
【抄録】

富山市は人口減少が深刻化している中、コンパクトなまちづくりを進め、持続可能なまちづくりを実現しようとしている。コンパクトなまちづくりとは、公共交通の強化、公共交通の活性化、中心部の活性化を指す。これらにより、公共交通の利便性が向上し、公共交通の利用が増える。また、中心部の活性化により、中心部の魅力が増え、中心部の活性化が促進される。コンパクトなまちづくりは、公共交通の強化、公共交通の活性化、中心部の活性化を指す。これらにより、公共交通の利便性が向上し、公共交通の利用が増える。また、中心部の活性化により、中心部の魅力が増え、中心部の活性化が促進される。

【まとめ】

- 公共交通の強化、公共交通の活性化、中心部の活性化を推進しよう。
- 公共交通の利便性を向上させよう。
- 公共交通の利用を増やそう。

消化ガス発電事業



市内最大規模の下水処理場（浜黒崎浄化センター）において、下水処理工程で発生する消化ガス（メタンガス）を有効活用した消化ガス発電事業を令和元年8月から開始。

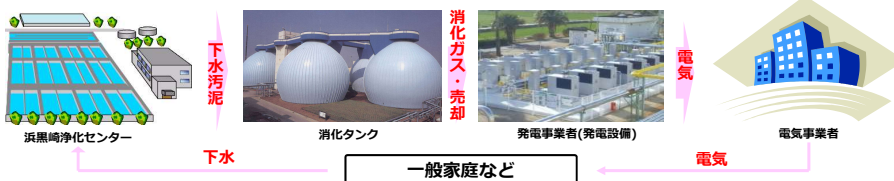
- ※従来までは、発生した消化ガスは消化タンクの加温に活用する一方、残ったガスは焼却処分。
- ※発電により、年間一般家庭1,800世帯分相当の発電。年間4,000tのCO2排出量の削減

【事業スキーム（民設民営方式）】

- 発電事業者が発電設備の設計・施工・運営・維持管理
- 富山市と発電事業者が消化ガス売りに係る契約を締結

※富山市の消化ガス売却収入=下水道事業の維持管理費充当

R2:約1億500万円、R3:約1億800万円、R4:約1億800万円



スマート農業（大沢野・富山地域）



大規模農地（塩）、中山間農地（大山上野）、ハウス（営農サポートセンター）の3ヶ所でスマート農業を導入するとともに、富山市センサーネットワークを活用しその効果を検証



SDGs自動販売機の設置



「フードロス削減」に向けて、**SDGs自動販売機**を設置
(令和3年1月29日 北陸コカ・コーラボトリングと本市が連携協定を締結)

賞味期限が近い余剰在庫の製品を並べ、割安な価格(1本70円~100円)で販売
→官民が連携した**持続可能な資源循環モデル**として市民へ発信



25

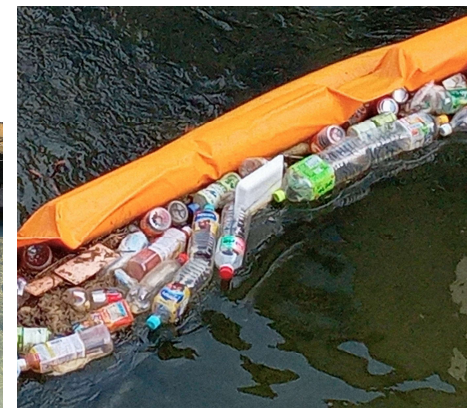
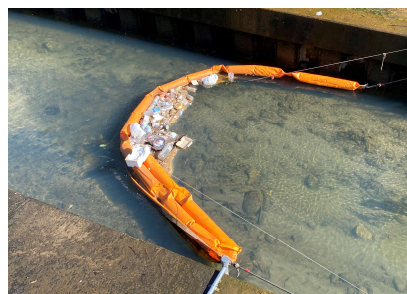
TOYAMA CITY

海洋プラスチックごみ対策



・富山湾を流れる河川や用水に「**オイルフェンス**」設置し、海に流出する前に、プラスチックごみ等を回収。

※富山湾の海岸漂着ごみの約8割は、陸域からの流出とされる。



26

TOYAMA CITY

まちづくりの相互連関(リンケージ)

・自治体(行政)のSDGsの取組は、目標11(持続可能なまち)を全てのゴールの中心に据えると、まちづくりがあらゆる目標に関係があるということが理解しやすい。



27

TOYAMA CITY

コンパクトなまちづくりを起点とした相互連関



28

TOYAMA CITY

SDGsの普及展開 ～SDGsを知る・理解する～

ロゴマークや新聞紙面を活用した発信など、市民・企業への「気づき」となる情報を発信

都市の理想を、富山から。



(北日本新聞へのマンスリーニュースの掲載)



SDGsウイーク (R5.1.21~1.29)



SDGsの普及展開 ～SDGsを実践する～

SDGsを自分ごととして捉え、実践を行うための「富山市SDGsサポーター」の登録を2019年度から開始



SDGs関連イベントなどの情報提供や、各自の具体的な取組を集約し、SDGs優良事例として新聞やホームページで紹介

*2023年3月末現在
1,041名、338団体・企業が登録

地域・職場等でSDGsを広め、自ら実践する「富山市SDGs推進コミュニケーター」養成講座を2020年度から開始



コロナ対策として、**オンライン**での受講を併用

*2023年3月末現在
147名を認定

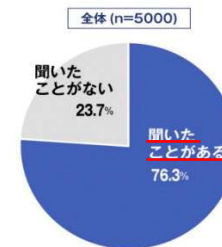
SDGsの現時点での認知度

SDGs認知度は、全国で約80%まで拡大

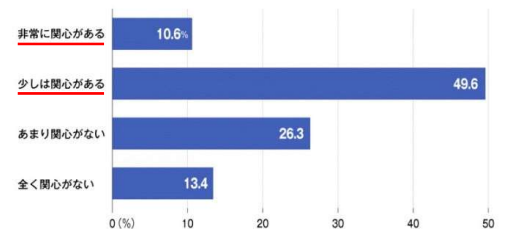
SDGsに関心のある人は、全体の60%

富山県におけるSDGsの認知度は、89.2%で全国一

あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか



あなたはSDGsにどの程度関心がありますか



朝日新聞：第8回「SDGs認知度調査」より

SDGsの実践に向けて(キーワード:「自分事化」)

SDGsは自主的、主体的に行うもの。

※ただし、行わないと、実践している地域や人と差がついていくもの。

- ① まずは、SDGsを知り、その理念や本質を理解すること。
- ② なぜ、SDGsが必要なのか、何をすべきかを考えること。
※SDGsと自分自身の繋がりや関わり
- ③ 世界(課題)はあらゆる面で繋がっている。SDGsを「**他人事**」ではなく、身近な「**自分事**」として深化させ、出来ることから行動していくことが重要。

SDGsの実現は、私たち一人ひとりの行動が必要不可欠

ご清聴いただき、ありがとうございました。

「**富山市SDGsサポーター**」
SDGs特設サイトから登録できます!



都市の理想を、富山から。



SDGs 未来都市
TOYAMA

<https://sdgs.city.toyama.lg.jp/>

SDGs未来都市とやま

検索